

次期復興計画骨子案（令和2年12月時点）に係る主なご意見等

委員名	ご意見等	対応案
渡邊委員 (代理石井常務)	①処理水の処分方法がこれからの復興の課題の一つ。	①国及び東京電力が進める安全・安心な廃炉に向けた取組状況の監視と県民への情報提供について計画本体に記載します。 なお、処理水の取り扱いについては東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所の廃炉に向けた中長期ロードマップに基づき国と東京電力が対応しており、その対応によって復興に影響を及ぼすことのないよう国に求めるとともに、影響が生じる場合には、国の責任のもと、市町村とも力を合わせて対応してまいります。
横田委員	①課題に「未だ3万7千人を超える避難者の生活再建のための支援」とあるが、ほとんどの方は生活を再建しており、今後は、避難者とのつながりが重要になるのではないか。 ②コロナの影響で倒産会社や失業者が出ている現時点において、「自立的なしごとづくり」という表現は、自分達で何とかしろと言われていたような誤解を招くのではないか。 ③「～づくり」との表現だと、県がつくるのか県民がつくるのか分かりづらい。みんなでここに向かっていくというような表現にすべき。第三者が見ても分かるような表現が必要。考え方は分かるので要は見せ方の問題。 ④原子力発電所に東京電力の固有名詞を用いていないが、何か東電に配慮しているような印象を与えかねない。 ⑤東日本台風等や新型コロナウイルス感染症への対応という表記だと、それらからの復興も計画に入れるとの誤解が生じる。廃炉を進める中での課題など、丁寧な説明が必要。	①～⑤について、御意見を踏まえ、計画骨子案を修正しました。

委員名	ご意見等	対応案
岩瀬委員	<p>①骨子案裏面の2「人・きずなづくりプロジェクト」の(3)「産業復興を担う人づくり」の取組にデジタル化の視点からの人づくりを入れた方がよいのではないか。例えば、「デジタル化と新技術を担う人材の育成」のようなものを。</p> <p>②「中小企業等の復興」で、中小企業にとって今後デジタル化の波は避けて通れない。コスト削減、サプライチェーン、新技術など様々な視点があるが課題として「デジタル化への対応のため、人材の育成・確保」のような記載があるべきでは。(施策として落ちていくべきではあるが具体的な施策が未定であっても認識すべき課題としては記載すべき)</p>	<p>①及び②について、御意見を踏まえ、計画本体に反映します。</p>
西崎委員	<p>①この計画を町民はどう活かせばよいのか。また、行政側はどのように意識して町の計画などに取り入れていくのか。</p> <p>②基本目標4だが、コロナ禍では柔軟な働き方が求められており、自立的かつ持続的な「しごと」が良いとは限らない。</p>	<p>①1月に市町村への意見照会を予定しており、市町村とも情報を共有しながら、計画本体を策定していきます。</p> <p>②御意見を踏まえ、計画骨子案を修正しました。</p>
岩崎会長	<p>①飯館村の総合計画の策定メンバーであるが、被災市町村の総計や復計でどういう課題があってどういう方向で解決しているかを踏まえる必要があるのではないか。</p> <p>②各自治体で復興の状況や課題が異なりまだら状になっているため、県の計画で一律に網を被せるのは難しいのではないかと。それぞれの復興の進捗状況を踏まえ丁寧に支援、伴走する必要があり、オーダーメイドで施策を構築するような姿勢が必要。</p> <p>③飯館村でも、計画に記載されているような農地中間管理機構による大規模経営や農地集積を進めているが、一方で、避難者が昔の集落に集まって「じゅうねん」を栽培するなどのような、集落を基盤としたコミュニティの再生や帰還の増につなげる小さな農業の形のニーズもある。市町村における取組の現状等を丁寧に把握することが大事。</p>	<p>①1月に市町村への意見照会を予定しており、市町村とも情報を共有しながら、計画本体を策定してまいります。</p> <p>②御意見に留意し、計画本体を策定してまいります。</p> <p>③1月に市町村への意見照会を予定しており、市町村とも情報を共有しながら、計画本体を策定してまいります。</p>

委員名	ご意見等	対応案
前澤委員	<p>①パブリックコメントを実施するのではれば、少しでも多くの意見を集められるような工夫をすべき。</p> <p>②今回の新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、全国的に衛生意識が向上したこともあり、本業の病児保育（預かり保育）の活動が半減しており助かっている。一方で、福祉分野における学生の体験学習の機会が減少しており、今後は人材確保・育成が大きな課題になってくると感じている。</p>	<p>①県HPへの掲載に加え、各合同庁舎に計画素案を設置の予定ですが、他の周知方法についても検討いたします。</p> <p>②御意見を踏まえ、計画本体に反映します。</p>
福迫委員	<p>①新しい計画を県民が読んだときに、その内容（現行計画との関係性）をよく理解してもらうためにも、「成果と課題」についてはこれまでの計画の検証結果（PDCA）を踏まえた内容としてはどうか。</p> <p>②「課題」として整理された項目については、それに対する施策が、計画本体にも記載されているようにしてはどうか。</p> <p>③県の計画であるため記載しなければならない項目が多くなることもわかるが、「効果的な施策であるか」ということも大切な観点。「効果的な施策」を検討する際には、地域ごとに異なる実情をしっかりと把握する必要がある。 例えば、復興公営住宅に関連した話では、公営住宅に避難している住民のフォローを避難元の自治体だけが行うのか、避難先の自治体も行うかで、地域ごとに差が生じている。このとき、県からの支援が被災自治体に対してのみ行われるのではなく、圏域的に支援を行うことができれば、県民目線に立った「効果的な施策」になるのではないか。</p> <p>④次期復興計画を総合計画のアクションプランとしたときに、復興計画と総合計画の違いや特徴が県民にもわかりやすいように見せ方を工夫する必要がある。 例えば、復興計画と総合計画に共通する項目である「日本一の子育て環境の整備」については、その性質が全県的に必要な取組であることから、復興計画においては記載を省略するか、【総合計画より再掲】と表示するとかの工夫が可能では。</p> <p>⑤コロナなどの全県的な影響がある事項であったとしても、復興計画への反映については、復興の取組に直接的に影響がある項目に限定するなどの工夫も可能では。復興に特化した計画であるということを打ち出していくのであれば、総合計画本体にはない取組を記載してもよいのでは。</p>	<p>①昨年度実施した総点検の結果を踏まえ、計画本体を策定してまいります。</p> <p>②御意見を踏まえ、計画本体に反映します。</p> <p>③市町村とも情報を共有し、地域ごとの実情の把握に努め、計画本体に反映します。</p> <p>④御意見を踏まえ、復興計画と総合計画の関係を図で示すなど、計画本体に反映します。</p> <p>⑤御意見を踏まえ、計画骨子案を修正しました。</p>

委員名	ご意見等	対応案
今野委員	<p>①総合計画と復興計画のどちらにも言えることあるが、その計画を県民が読んだときに、内容がよく伝わるように見せ方を工夫するべき。計画全体の流れや、各章立ての関連性がわかりやすいと良い。</p> <p>②「復興が進んでいる（途上の）側面」と「これまでの成果（課題）」との関係や、これに対応する基本目標がそれぞれ独立しているような印象を与えないような工夫をするべき。それぞれの項目のつながりを意識してほしい。</p> <p>③「i 基本理念はこれ、ii この基本理念のもとに成果と課題を整理した結果がこれ、iii この課題を解決するための基本目標がこれ、iv この基本目標を達成するためのプロジェクト（取組）がこれ、というような流れがわかると、パブコメを実施した場合でも、県民も意見が出しやすいのでは。</p> <p>④総合計画に先行して復興計画のパブコメを行うのであれば、この二つの計画の関係性や特徴（位置づけ）についても、県民にわかりやすく説明すると良い。</p>	<p>①～③について、御意見を踏まえ、計画本体に反映します。</p> <p>④御意見を踏まえ、復興計画と総合計画の関係を図で示すなど、計画本体に反映します。</p>
松澤委員	<p>①避難地域のプロジェクトの取組は、他のプロジェクトの取組とも重なっているもので、そのような見せ方をした方が良いのでは。</p> <p>②「人・きずなづくりプロジェクト」の（3）「産業復興を担う人づくり」に、「福島大学と連携した農学系人材の育成」とあるが、「福島大学」との固有名詞がついていることに違和感を感じる。</p> <p>③「基本目標2」の図に合わせるならば、グローバルな視点の人材育成というような表現を入れた方が良いのでは。</p>	<p>①～③について、御意見を踏まえ、計画骨子案を修正しました。</p>